

2014年8月22日

札幌市議会議員
金子 快之 様
札幌市議会自民党・市民会議
会長 村松 正海 様

札幌市議会市民ネットワーク北海道
会長 小倉菜穂子

「アイヌ民族はいない」発言の撤回と謝罪を求める緊急申し入れ

札幌市議会議員の金子快之氏（東区）が、ツイッターで「アイヌ民族なんて、いまはもういない」と書き込んだことに、多くの批判が寄せられています。しかし、新聞報道では金子議員が所属する自民党・市民会議は、「個人的な見解である」として容認の姿勢を示し、本人も撤回や謝罪の意思はないとのことでした。

「アイヌ民族はいない」という金子議員の発言は、全くの誤りであり、アイヌ民族のこれまでの苦難の歴史や権利回復を求める関心を全否定するばかりか、今現在、多くの困難の中で歴史や文化の伝承に取り組むアイヌ民族の尊厳を踏みにじる暴言であると言えます。

また、2007年9月に国連総会で採択された「先住民族の権利に関する国際連合宣言」や、2008年6月、自民党政府のもとで衆参両院の全会派が認めた、「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」を蔑ろにするものであり、看過することはできません。

よって、札幌市議会市民ネットワーク北海道は、金子議員に対し発言の誤りを率直に認めて撤回・謝罪すること、また、札幌市議会の良識を示すためにも所属会派である自民党・市民会議が金子議員に対し、発言の撤回と謝罪を求める決定を行うことを強く求めます。